

「わくわく DS 研究会」2025年11月 会合録

日時：2025年11月29日（土）10:00～12:00

場所／方法：Zoomによる遠隔会議

出席者：脇阪、下里、佐伯、鈴木

1. 発表・技術指導：AIを活用したスライド作成と自動化（担当：下里）

- 「魔人式」スライド作成ツールの紹介：
 - 下里氏より、AI（Gemini）を活用したスライド作成手法「魔人式」について解説が行われた。これはYouTube動画の内容を「Deep Research」機能で深掘りし、詳細な研究レポートを作成、それを基にプレゼンテーション資料を生成する手法である。
 - 具体的な手順として、Markdown形式のファイルをGeminiに読み込ませる方法や、必要なスクリプト（System Prompt V3.mdなど）のダウンロード手順が指導された。
- Google Apps Script (GAS) による自動化の実演：
 - 下里氏が脇阪氏に対し、Google DriveとGASを用いたスライド生成プロセスの実演指導を行った。
 - JSONファイルを読み込み、Googleスライドを自動生成するスクリプトのデプロイ、エラー対処、およびスライドのデザイン調整（ロゴや不要な線の削除など）について詳細な手順が共有された。

2. 討議：著作権とセキュリティ・コンプライアンス

- AIツールの業務利用と著作権：
 - AIを用いたコンテンツ生成における著作権法上の注意点が議論された。個人利用の範囲での複製は許容されるものの、業務利用での共有や丸ごとのコピーは違法となるリスクが確認された。
 - 脇阪氏は、他者が作成したコンテンツを利用する際の判断基準として、「自分がされたら困ることは避けるべき」という原則を提示した。
- Google Workspaceの運用とセキュリティ：
 - 無料版と有料版（企業アカウント）のセキュリティの違いについて議論された。下里氏は、無料版ではファイルが保存される際のセキュリティリスクがある一方、有料プランはより安全性が高い可能性を指摘した。
 - 佐伯氏より、会社のアカウントを利用して課金問題を回避しつつ機密性を保つ運用について確認が行われた。

3. 今後のアクションプラン

- 学会発表準備：佐伯氏は、自身の学会発表用の原稿について、脇阪氏に確認を依頼することで合意した。
- 教育現場への応用：AIツール（特にGeminiとDeep Research機能）を教育現場や論文作成にどのように活用できるかについて、継続して議論していくことが確認された。

4. 次回の例会

- 日時：2026年1月31日（土）10:00～12:00
- 内容：下里氏によるプログラミング講習（引き続きツールの実践など）を予定。

以上